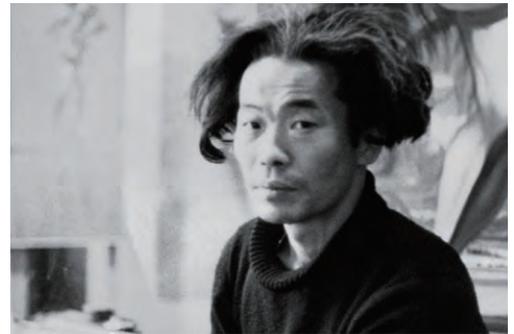


From the Ikebukuro Montparnasse to Itabashi The Evolution of Three Showa Era Artists: Inoue, Terada and Furusawa



INOUE Chozaburo

井上長三郎
《静物(骨と布)》1935年

TERADA Masaaki

寺田政明
《芽》1938年

FURUSAWA Iwami

古沢岩美
《北国の女》1955-58年

区 制 施 行 9 0 周 年 記 念 館 蔵 品 展

井上長三郎・寺田政明・古沢岩美の時代

池袋モンパルナスから板橋へ

2022.4.29 [金・祝] — 6.5 [日]

開館時間 9時30分—17時(入館は16時30分まで) / 休館日 月曜日 / 観覧料 無料 / 主催 板橋区立美術館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクを着用されていない方はご入館いただけません。原則としてグループでのご観覧はご遠慮ください。

館内では係員の指示に従ってください。また、記載内容について変更する場合がございます。予めご了承ください。

板橋区立美術館

〒175-0092 東京都板橋区赤塚5-34-27

tel:03-3979-3251 <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/>



板橋区立美術館
ITABASHI ART MUSEUM



井上長三郎、寺田政明、古沢岩美は画家を志す熱い想いを胸に上京し、戦前は池袋モンパルナス、戦後は板橋区に住居兼アトリエを構えました。日本や西洋の画家たちに憧れ、戦前に海外より紹介された、フォービズムやシュルレアリスムをはじめとする表現に刺激を受け、それぞれの画風を確立した彼らは、生涯にわたり独自の絵画を追求しました。激動の時代を見つめ、描き続けた3人の画家の生き様に迫る展覧会です。

INOUE Chozaburo

井上長三郎(1906-1995)

「絵画は大衆に関心をもたれなくてはならない。
そして面白くなければならない」

神戸に生まれ、満洲の大連で育った井上は、セザンヌに憧れて上京し美術学校に入ります。政治や社会に関心を持ち、問題の裏側に隠された真実を明らかにしようとした彼の作品は、戦中には時局にそぐわないとして撤去されたこともあり。戦後は砂川事件、ベトナム戦争などの被害者の姿、画一的で滑稽な議員たちの姿を描くことを通じて、時にはユーモアも交えて人間とは、社会とは何かを問い続けました。

TERADA Masaaki

寺田政明(1912-1989)

「描くゆえに我あり」

北九州に生まれた寺田は7歳の時、足の怪我のために入院した病院で若い医師が油彩画を描く姿を見たことが画家を志すきっかけのひとつとなりました。上京した彼は美術学校に通いますが、小熊秀雄や山之口貌といった詩人、長谷川利行や鬘光といった画家たちとの交友も彼の芸術をかたち作りました。寺田は戦前より木の芽や鳥や虫、魚といった命あるものを慈しむように描き続けました。生き物を描くこと、絵があることで今の自分があると繰り返し述べています。

FURUSAWA Iwami

古沢岩美(1912-2000)

「芸術とは何か、美とは何か、今だに正体はつかめていない」

佐賀に生まれた古沢は幼少期より絵を好み、16歳の時に上京し、同郷の画家で当時、東京美術学校の教授であった岡田三郎助の書生となります。その後、22歳で岡田邸を出た古沢は画家たちの集う「池袋モンパルナス」を拠点とし、シュルレアリスムをはじめとする前衛絵画に関心を寄せます。従軍し、捕虜となった後に復員した古沢は戦後、自らの従軍体験を元に戦争とエロスをテーマに美術界に議論を巻き起こしながらも力強く描き続けました。

1	5	井上長三郎 1.《議長席》1971年/2.《礼装》1970年
2	6	寺田政明 3.《谷中真島町(モデル坂付近)》1932年/4.《樹は見ている》1987年
3		古沢岩美 5.《飛べない天使(おうむ)》1948~94年/6.《像》1952年
4		全て板橋区立美術館蔵

関連イベント *状況により変更となる可能性があります。

● 記念対談 (定員40名、聴講無料、要事前申込)

5月21日[土] 14時-15時30分

「牛に牽かれてひぐらし谷へ 父 寺田政明のこと」

寺田農(寺田政明氏ご子息、俳優)×弘中智子(板橋区立美術館学芸員)

● 絵を見ることを楽しむためのワークショップ (定員10名、参加費500円、要事前申込)

5月29日[日] 14時-16時

絵画作品をじっくりと見て、言葉や色などで表現しながら、見ることを楽しみます。

ご参加いただいた方には本展担当学芸員が作成した作品解説とワークシートをお渡しいたします。

*いずれも要事前電話申込、受付開始5月7日[土]9時より、1申込につき2名まで、先着順、月曜休館

*そのほかのイベントについては当館HP、SNSをご確認またはお電話にてお問合せください。

交通案内

[徒歩] 都営三田線「西高島平駅」下車 約14分

[路線バス] 1時間に1~2本程度 所要時間約10分

① 東武東上線「成増駅」北口2番のりば「増17 区立美術館経由 高島平操車場」行き「区立美術館」下車
*東京メトロ有楽町線/副都心線「地下鉄成増駅」(5番出口)も利用可

② 都営三田線「高島平駅」西口2番のりば「増17 区立美術館経由 成増駅北口」行き「区立美術館」下車

[タクシー] 東武東上線「成増駅」北口、都営三田線「高島平駅」西口より約5分

